

## 越中新川郡の石造文殊菩薩

滝本 やすし

### はじめに

文殊菩薩の石像は、釈迦三尊の脇侍、四国八十八ヶ所霊場の一尊、十三仏の一尊などにみられる例が多い。本稿ではこれら以外においての石造文殊菩薩の造像についての調査報告を行う。越中新川地方に三十体ほどの石造文殊菩薩を確認しており、特に旧下新川郡で西国三十三ヶ所観音と共に造立されている例が多くみられる。

### 朝日町境 西墓地

境西墓地内に石造文殊菩薩がみられる。凝灰岩製舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に経函を持ち、蓮上に立っている。光背上部に「ア 妙円智證大姉」、台石には「境村／水嶋九平」と刻まれている。

### 朝日町大家庄 観音堂

曹洞宗天香寺門前に観音堂が建てられており、西国三十三ヶ所観音をはじめとする石仏四十六体と木造仏一体が納められている。ほとんどの石仏が美しく彩色されている。観音以外の石仏は、金剛界大日如来一体、釈迦如来一体、阿弥陀如来一体、文殊菩薩一体、地藏菩薩二体、不動明王一体、弘法大師二体、尊名不明僧形像一体である。観音二体、地藏一体、弘法大師一体を除く四十二体は、同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。

文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に経巻を持ち、獅子上の蓮に座っている。光背に「為一圓素光大姉菩提」と墨で書かれている。西

国三十三ヶ所観音の奥に置かれている。

### 朝日町舟川新 観音堂

舟川庵という尼寺の跡に観音堂が建てられており、西国三十三ヶ所観音をはじめとする石仏四十一体と木造仏三体が納められている。全ての石仏が美しく彩色されている。観音以外の石仏は、大日如来一体、釈迦如来一体、阿弥陀如来一体、文殊菩薩一体、地藏菩薩一体、不動明王一体、弘法大師一体である。これらの石仏は、同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。

文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に経巻を、左手に如意棒を持ち、獅子上に右足を下して座っている。西国三十三ヶ所観音の奥に置かれている。

朝日町には大家庄と舟川新の他に月山と三枚橋に観音堂が建てられており、石造西国三十三ヶ所観音とその他の石仏が納められている。これら四ヶ所の観音堂は全て曹洞宗の門徒で管理されている。しかし月山と三枚橋の観音堂には、石造の文殊菩薩はみられない。文殊菩薩の石像がみられる大家庄と舟川新の観音堂には弘法大師の石像もみられることから、これらの石仏群は、もとは真言宗による造立だったと考えられる。文殊菩薩の石像がみられない月山と三枚橋の観音堂には道元と思われる石像がみられ、当初から曹洞宗による造立であったと考えられる。

### 黒部市若栗 曹洞宗白福寺観音堂

白福寺境内左手に観音堂が建てられており、西国三十三ヶ所観音をはじめとする石仏三十九体が納められている。西国三十三ヶ所観音以外の石仏は、薬師如来一体、文殊菩薩一体、地藏菩薩二体、聖観音一体、不動明王一体である。西国三十三ヶ所観音、薬師如来、文殊菩薩は、同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。これらの三十五体は、同様の彩色がされている。

文殊菩薩は円光背型の丸彫りで、両手で如意棒のようなものを持った、獅子上の結跏趺座像である。西国三十三ヶ所観音と同じ大きさで、観音群の中に紛れている。

### 黒部市植木 東信庵観音堂

東信庵境内右手にコンクリート製の小堂が建てられており、石造の西国三十三ヶ所観音、不動明王等と共に文殊菩薩が納められている。窮屈に納められているので、奥のほうの石仏は像容を確認できない。不動明王は西国三十三ヶ所観音と石材や手法が似ているが、文殊菩薩は石材や手法が異なるのである。これらとは別に作られたものようである。

文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に経巻を持ち、獅子上の輪王座像である。彩色されているが、かなり色あせている。西国三十三ヶ所観音の手前に置かれている。

### 黒部市中野 高野山真言宗密應寺境内

密應寺境内の小堂内に、石造の文殊菩薩と如意輪観音が並んで納められている。石材や手法が同じであり、同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。

文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に蓮華を持つ、蓮上の結跏趺座像である。

### 黒部市枕野 路傍

枕野集落はずれの路傍に、顕彰碑一基、名号塔二基、石仏十一体が並んでいる。

文殊菩薩は円光背型の丸彫りで、右手に剣を、左手に経巻を持ち、蓮上に座っている。円光背型の丸彫り像がもう一体あり、剥落が激しく像容がはっきりとしないが普賢菩薩と思われる。釈迦如来がみられないが、文殊菩薩と

普賢菩薩の二体のみが同時に作られたのだろうか。

### 黒部市朴谷 観音堂

朴谷路傍に観音堂が建てられており、西国三十三ヶ所観音をはじめとする石仏三十九体と木造仏六体が納められている。彩色されている石仏は、西国三十三ヶ所観音、十一面千手観音、文殊菩薩の三十五体である。十一面千手観音と文殊菩薩は西国三十三ヶ所観音よりも大きい。石材や手法が同じであることから同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。

文殊菩薩は中央最上段に置かれており、これらの石仏群の中尊とされている。舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に経巻を持ち、水上(?)に座っている。蓮の台石に乗せられているが、後補のものであろうか。西国三十三ヶ所観音と同じ大きさで、観音群の中に紛れている。

### 黒部市阿弥陀堂 観音堂

阿弥陀堂路傍に観音堂が建てられており、石造の西国三十三ヶ所観音、阿弥陀如来、文殊菩薩が納められている。阿弥陀如来は他の三十四体より大きい。石材や手法が同じであることから、これら三十五体の石仏は同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。阿弥陀如来以外の石仏は彩色されている。

文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に経巻を持ち、蓮上に座っている。獅子が彫られた台石に乗せられている。西国三十三ヶ所観音と同じ大きさで、観音群の中に紛れている。

### 黒部市釈迦堂 観音堂

釈迦堂路傍に観音堂が建てられており、路傍に観音堂が建てられており、西国三十三ヶ所観音をはじめとする石仏三十八体と木造仏二体が納められて

いる。西国三十三ヶ所観音、文殊菩薩、大きな聖観音の三十五体は、同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。

文殊菩薩は宝珠形光背の丸彫りで、右手に剣を、左手に経巻を持つ、獅子上の輪王座像である。西国三十三ヶ所観音と同じ大きさで、観音群の中に紛れている。

### 黒部市田初 観音堂

田初白山社の隣に観音堂が建てられており、石造の西国三十三ヶ所観音、文殊菩薩、普賢菩薩、不動明王、木造弘法大師座像が納められている。三十六体の石仏はいずれも彩色されており、石材や手法が同じであることから同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。

文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に蓮華を持つ、蓮上の結跏趺座像である。西国三十三ヶ所観音と同じ大きさで、観音群の中に紛れている。

### 黒部市嘉例沢 観音堂

廃村となった嘉例沢集落跡に新しい石造の観音堂が建てられており、石造の西国三十三ヶ所観音、善光寺式阿弥陀三尊、釈迦如来、文殊菩薩、不動明王、市指定文化財の木造十一面千手観音立像が納められている。釈迦如来を除く三十五体の石仏は美しく彩色されており、石材や手法が同じであることから同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。

善光寺式阿弥陀三尊と文殊菩薩は、西国三十三ヶ所観音よりも大きい。文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手には経巻を乗せた蓮華を持つ、蓮上の結跏趺座像である。

東布施には、笠破にも石造の西国三十三ヶ所観音が納められた観音堂が建てられている。中央の厨子は施錠されており中を拝見できないが、弘法大師かと思われる。文殊菩薩は確認できない。

### 魚津市布施爪 観音堂

布施神社参道脇に観音堂が建てられており、石造の西国三十三ヶ所観音、文殊菩薩、地藏菩薩二体、青面金剛、不明仏と木造仏数体が納められている。ほとんどの石仏が彩色されている。文殊菩薩は西国三十三ヶ所観音よりも大きい。石材や手法が同じであることから同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。

文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に経巻を持つ、獅子上の輪王座像である。テーブル状の台石に乗せられている。西国三十三ヶ所観音の中央奥に置かれている。

### 魚津市長引野 観音堂

長引野路傍に観音堂が建てられており、石造の西国三十三ヶ所観音、文殊菩薩、弘法大師が納められている。弘法大師以外は美しく彩色されている。文殊菩薩は西国三十三ヶ所観音よりも大きい。石材や手法が同じであることから同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に蓮華を持つ、蓮上の結跏趺座像である。西国三十三ヶ所観音の中央奥に置かれている。

### 魚津市黒沢 観音堂

黒沢路傍に観音堂が建てられており、石造の西国三十三ヶ所観音、文殊菩薩、青面金剛が納められている。青面金剛にはわずかに彩色の痕がみられるが、他の石仏は彩色されていない。文殊菩薩と西国三十三ヶ所観音は、石材や手法が同じであることから同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。

文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に経巻を持つ、獅子上の輪王座像である。西国三十三ヶ所観音と同じ大きさで、観音群の中に紛れている。

## 魚津市天神野新 観音堂

八幡社前に観音堂が建てられており、石造の西国三十三ヶ所観音と文殊菩薩が納められている。いずれも美しく彩色されている。文殊菩薩は西国三十三ヶ所観音よりも大きい。石材や手法が同じであることから同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。

文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に蓮華を持つ、蓮上の結跏趺座像である。西国三十三ヶ所観音の中央奥に置かれている。

## 魚津市黒谷 路傍

黒谷路傍のコンクリート製の小堂内に、十体ほどの石仏が納められている。数体の地藏は同時に作られたものと思われるが、他の石仏は別々に作られたものようである。

文殊菩薩は笠付角柱型の石塔に浮彫りされており、獅子上に座っている。左右の手にそれぞれ何かを持っているが、蓮華なのか如意棒なのかはっきりとしない。彩色されていない。

## 魚津市平沢 路傍

小坂橋を渡ったすぐ左の建物跡と思われる空地に、二体の大きな石が並んでいる。向って右の石に獅子に乗った童子形の文殊菩薩が浮彫りされており、左の石には象に乗った童子形の普賢菩薩が浮彫りされている。

## 魚津市釈迦堂 観音堂

神明社裏手に観音堂が建てられており、石造の西国三十三ヶ所観音、文殊菩薩、如意輪観音、不動明王二体、弘法大師二体が納められている。ほとんどの石仏が美しく彩色されている。文殊菩薩と如意輪観音は西国三十三ヶ所観音よりも大きい。石材や手法が同じであることから同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。

文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に蓮華を、左手に子供を持ち、蓮上に座っている。一見すると子安観音のように見えるが、経巻として彫られたものが子供の姿のように彩色されているものであるか。西国三十三ヶ所観音の中に紛れている。

## 上市町黒川 穴の谷霊場①

穴の谷霊場には、昭和四十四年頃に奉納された多くの石仏がみられる。文殊菩薩は角板型の石塔に浮彫りされており、童子形で、両手で如意棒のようなものを持ち獅子上に座っている。兒文殊である。

## 上市町黒川 穴の谷霊場②

穴の谷霊場には、石造の文殊菩薩がもう一体みられる。角板型の石塔に浮彫りされており、右手に剣を、左手に蓮華を持つ、蓮上の結跏趺座像である。

## 上市町大岩 真言密宗日石寺古仏堂

日石寺古仏堂には不動明王をはじめとする数多くの仏像が並んでいる。石造文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に経巻を持つ、蓮上の結跏趺座像である。

## 立山町金剛新 路傍

桂林寺斜め向かいの小堂に、十二体の石仏が納められている。そのうちの八体ほどが、石材や手法が同じであることから同時あるいはほぼ同時期に同じ石工によって作られたものと思われる。

文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に蓮華を持ち、蓮上に座っている。釈迦如来がみられないが、文殊菩薩と普賢菩薩は同時に作られたものと思われる。

## 立山町日中上野 路傍

日中上野から四谷尾へと下りる道の途中に、石造の文殊菩薩が置かれている。笠付角柱型の石塔に浮彫りされており、右手に剣を、左手に経巻を持ち、蓮上に座っている。一部に彩色の痕がみられる。右側面に「安樂十一世照山禅隆大和尚」と刻まれており、左側面には年号が刻まれているが「八月」以外は判読できない。

白岩の曹洞宗安樂寺の照山禅隆和尚によって建立された同様の笠付角柱型の石仏は立山町東部にいくつかみられ、その中に文久年間の銘のものが確認され、この文殊菩薩も同時期の作と思われる。

## 立山町下瀬戸 路傍

下瀬戸集落内の路傍の小堂に、数体の石仏が納められており、いちばん左奥に文殊菩薩がみられる。舟光背型の浮彫りで、両手で如意棒のようなものを持ち、獅子にまたがっている。彩色されていない。円盤状の台石に乗せられている。頭部形状がはっきりとしないが、剃髪のように見えることから、僧形文殊ではないかと考えられる。

## 立山町宮地 路傍

宮路集落内の路傍に、石造の文殊菩薩が置かれている。笠付角柱型の石塔に浮彫りされており、右手に剣を、左手に経巻を持ち、蓮上に座っている。僅かに彩色の痕がみられる。

## 富山市水橋柳寺 路傍

路傍のコンクリート製の小堂内に、三体の石仏が納められている。中央が地藏菩薩、向かって右が文殊菩薩、左が普賢菩薩である。これらの三体は石材が異なることから、別々に作られたものと思われる。

文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に宝珠を持ち、獅子上

に座っている。彩色されていない。光背に「安山良全居士／柳寺村畠又吉」と刻まれている。普賢菩薩の光背に「……大士／柳寺村畠又吉」と刻まれているが、どちらが先に作られたのかは不明である。

## 富山市文殊寺 武部神社境内

武部神社拝殿の左手に、四角柱の石塔が置かれている。下部が土中に埋まっております。判読できる文字は「宝曆十三…／文殊権現御宝…／九月吉…」である。この石柱は灯籠の竿と考えられ、神仏習合における文殊信仰の貴重な資料である。

## 富山市町長 共同墓地

町長共同墓地内の田中家墓所に、十体ほどの石仏が並べられている。文殊菩薩は舟光背型の浮彫りで、右手に剣を、左手に経巻を持つ、蓮上の結跏趺座像である。彩色されていない。

## 富山市小糸 公民館(報徳寺跡)

廃寺となった報徳寺跡の公民館内に、木造仏や石仏が置かれている。石仏は、青面金剛、一石西国三十三ヶ所観音、聖観音で、文殊菩薩は西国三十三ヶ所観音といっしょに彫られている。西国三十三ヶ所観音は七段に彫られ、その右に文殊菩薩が大きく彫られている。いずれも美しく彩色されている。西国三十三ヶ所観音には「一番」から「三十三番」までの番号が、文殊菩薩には「文殊師利」と墨で書かれている。文殊菩薩は、右手に剣を、左手に蓮華を持ち、蓮上に座っている。

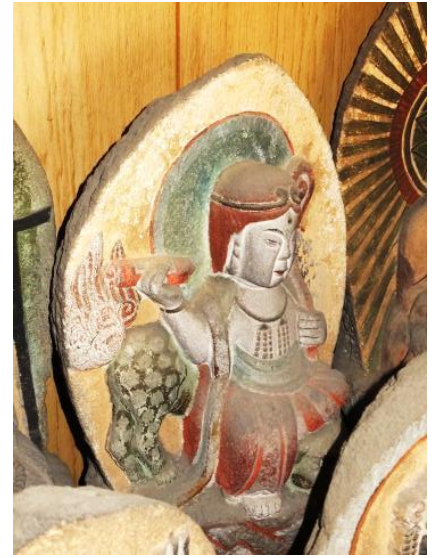
所在地	像容(右手持物、左手持物)	年号	西暦	備考
朝日町境 西墓地	立像(剣、経函)			
朝日町大家庄 観音堂	獅子上座像(剣、経巻)			西国三十三ヶ所観音と共に
朝日町舟川新 観音堂	獅子上半跏像(経巻、如意棒)			西国三十三ヶ所観音と共に
黒部市若栗 白福寺観音堂	獅子上座像(両手で如意棒?)			西国三十三ヶ所観音と共に
黒部市植木 東信庵観音堂	獅子上輪王座像(剣、経巻)			西国三十三ヶ所観音と共に
黒部市中野 密應寺境内	座像(剣、蓮華)			
黒部市枕野 路傍	座像(剣、経巻)			普賢菩薩と共に
黒部市朴谷 観音堂	座像(剣、経巻)			西国三十三ヶ所観音と共に
黒部市阿弥陀堂 観音堂	獅子上座像(剣、経巻)			西国三十三ヶ所観音と共に
黒部市釈迦堂 観音堂	獅子上輪王座像(剣、経巻)			西国三十三ヶ所観音と共に
黒部市田靱 観音堂	座像(剣、経巻)			西国三十三ヶ所観音と共に
黒部市嘉例沢 観音堂	座像(剣、蓮華上経巻)			西国三十三ヶ所観音と共に
魚津市布施爪 観音堂	獅子上輪王座像(剣、経巻)			西国三十三ヶ所観音と共に
魚津市長引野 観音堂	座像(剣、経巻)			西国三十三ヶ所観音と共に
魚津市黒沢 観音堂	獅子上輪王座像(剣、経巻)			西国三十三ヶ所観音と共に
魚津市天神野新 観音堂	座像(剣、経巻)			西国三十三ヶ所観音と共に
魚津市黒谷 路傍	獅子上座像(？、？)			
魚津市平沢 路傍	童子形獅子上座像(両手で如意棒?)			兒文殊、兒普賢と共に
魚津市釈迦堂 観音堂	座像(蓮華、子供)			西国三十三ヶ所観音と共に
上市町黒川 穴の谷霊場	童子形獅子上座像(両手で如意棒?)	昭和44年	1969	兒文殊
同 同	座像(剣、蓮華)	昭和44年	1969	
上市町大岩 日石寺古仏堂	座像(剣、経巻)			
立山町金剛新 路傍	座像(剣、蓮華)			
立山町日中上野 路傍	座像(剣、経巻)			
立山町下瀬戸 路傍	獅子にまたがる(両手で如意棒?)			
立山町宮地 路傍	座像(剣、経巻)			
富山市水橋柳寺 路傍	獅子上座像(剣、宝珠)			普賢菩薩と共に
富山市文殊寺 武部神社境内	「文殊権現御宝…」	宝暦13年	1763	灯籠の竿(?)に印刻
富山市町長 共同墓地	座像(剣、経巻)			
富山市小糸 公民館(報徳寺跡)	座像(剣、蓮華)			一石に西国三十三ヶ所観音と共に



朝日町境 西墓地



朝日町大家庄 観音堂



朝日町舟川新 観音堂



黒部市若栗 白福寺観音堂



黒部市植木 東信庵観音堂



黒部市中野 密應寺



黒部市枕野 路傍



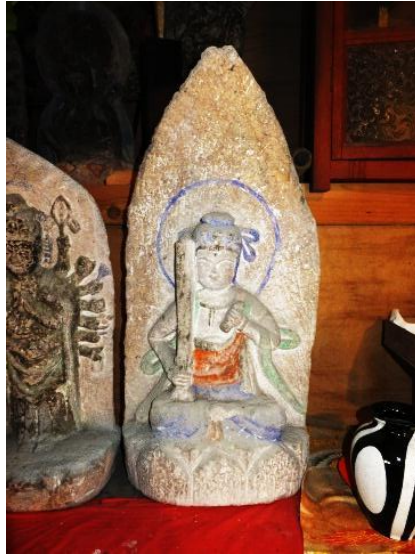
黒部市朴谷 観音堂



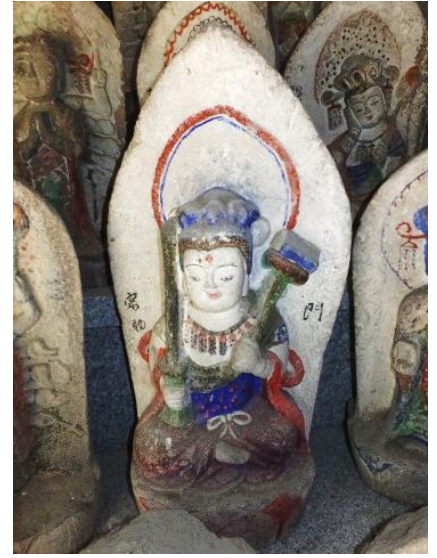
黒部市阿弥陀堂 観音堂



黒部市釈迦堂 観音堂



黒部市田籾 観音堂



黒部市嘉例沢 観音堂



魚津市布施爪 観音堂



魚津市長引野 観音堂



魚津市黒沢 観音堂



魚津市天神野新 観音堂



魚津市黒谷 路傍



魚津市平沢 路傍

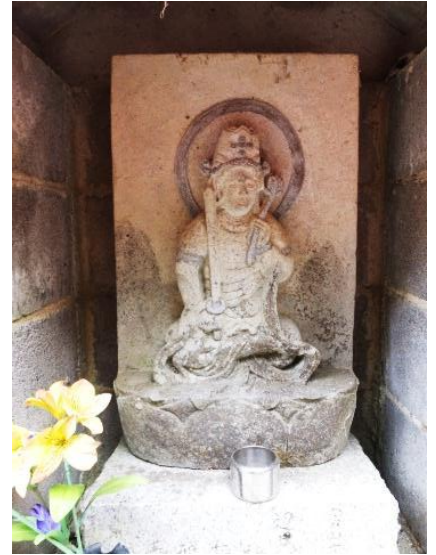




魚津市釈迦堂 観音堂



上市町黒川 穴の谷霊場



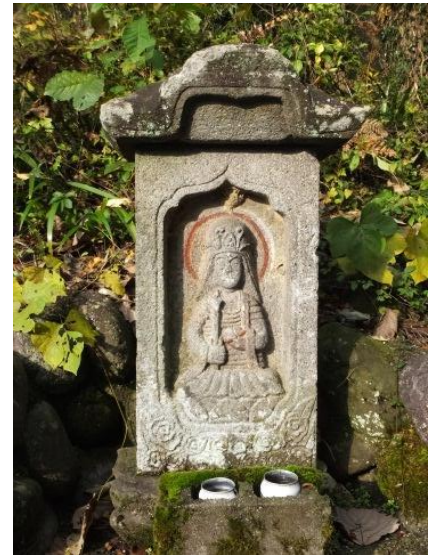
上市町黒川 穴の谷霊場



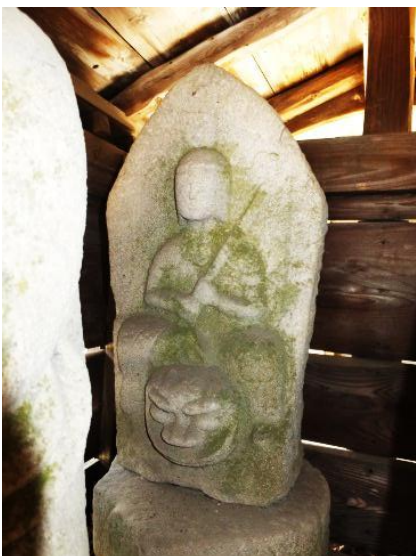
上市町大岩 日石寺古仏堂



立山町金剛新 路傍



立山町日中上野 路傍



立山町下瀬戸 路傍



立山町宮地 路傍



富山市水橋柳寺 路傍



富山市文殊寺 武部神社



富山市町長 共同墓地



富山市小糸 公民館